

15.07.19 木曾駒ヶ岳山行報告書

M3 堀江 栄之

①参加メンバー

M3 堀江 C2 林 (計2名)

②コースタイム

荻窪駅 21:30～(車・中央道経由)～00:30 菅の台バスセンター[車中泊]5:30～(バス)～05:55 北御所登山口
北御所登山口 06:00～(1時間10分)～07:10 蛇腹沢登山口 07:10～(1時間)～08:10 清水平 8:20(40分)
～09:00 五合目うどんや峠 09:20～(1時間)～10:20 小屋場 10:20～(30分)～10:50 七合目手前(1時間10分)
～12:00 五合目うどんや峠～12:25 清水平～13:00 蛇腹沢登山口～13:45 北御所登山口

③本文

「木曾駒ヶ岳からご来光を見よう！」

そう思い立って計画した今回の山行だったが、当初の目的とは違った意味で記憶に残る山行となった。

バスの乗客のほとんど全員がロープウェイ乗り場を目指す中、私と林は一つ手前のバス停である北御所登山口で降りた。山岳部員がロープウェイを使うのはよろしくないだろうと北御所登山口から登ることにしたが、今思えばロープウェイを使うべきだったかもしれない。

途中、清水平の美味しい湧水でのを潤し、五合目のうどんや峠まで順調に歩を進めたが、ここで第一のハプニングが発生した。私はうどんや峠でカップうどんを食べるというくだらない企画を考えていた。そのため、峠でザックを下ろし、調理器具を取り出した。調理器具はザックの奥底にあったため、シュラフも一緒に取り出していたのだが、これが何かの拍子に足に当たってしまい、円筒形のシュラフは「おむすびころりんすつとんとん」とばかりにきれいに谷底に落ちていった。幸い落石はなく、崖下に一般ルートがあるわけではなかったので（あれば取りに戻っていたと思う）、他人を巻き込む事故にはならなかった。まあ、今日は小屋に泊まればいいのかと気持ちを立て直して、うどんをすすった。すすりながらこのバカげた企画を心底後悔した。

うどんや峠を後にして、小屋場を過ぎたあたりで突然雨が降り始めた。本日7月19日の天気予報は一週間前からずっと晴れだったし、雨足は弱かったのも、すぐに止むだろうと雨具を着て先に進んだ。しかし、雨は強くなる一方だ。さらに林が頭痛と呼吸困難を訴え始めた。もうすこしで宝剣山荘なので、そこで休憩をとりつつ山行継続か中止かを検討したかったが、林が相当辛そうで高山病の疑いが強いいため、7合目手前で引き返す決断を下した。雨はさらに勢いを増し、まさに土砂降りとなり、雨具の下もずぶ濡れになった。ほうほうの体で下山してそのままバスに乗り、他の乗客の奇異の目にさらされ散々だった。

しかも驚いたことに駐車場に着いた頃には雨はすっかり上がっていて雲の切れ目から青い空が覗いていた。きっと私か林のどちらかが前世にこの地で相当因果なことをやらかしたのだろう。山頂には行けず、シュラフを失い、下着までずぶ濡れになるというなんとも残念な山行となった。